

大学生活は危険がいっぱい

大学生になると社会的に大人と見なされることが増え、「できること」が多くなります。アルバイトなどで学校以外の世界も広がります。その一方で、トラブルに遭遇する危険性も高まります。危険性があることには近づかないようにし、トラブルに巻き込まれたときには適切に対処できるよう、ふだんからの心構えが必要になります。

カルト

反社会的な宗教団体をいいます。これらはふつうのサークルに見せかけて近づき、親身で好意的な態度で親密な関係を築いてからセミナーや合宿に誘います。一旦取り込まれると、友人や家族との接触を禁じられるなど、社会生活に支障を来します。

対策
おかしいと思ったらはっきりと断りましょう。関わってしまったときは、大学の相談窓口を利用しましょう。

盗難

大学のキャンパスで、置き引きなどの盗難事件が起こることがあります。大学にはいろいろな人が出入りします。教室や図書館、食堂などで、荷物を置いて席を離れたわずかな隙がねらわれます。

対策
貴重品は必ず携帯し、荷物を置いたまま席を離れないようにしましょう。被害にあったら大学の窓口に報告しましょう。

飲酒

20歳未満の飲酒は違法です。成年であっても、飲酒が過ぎるとアルコール中毒で死に至ることもあります。大学生はコンパなどでお酒の場に接する機会が増えます。酔ってふだんの感覚を失い、事故やトラブルに巻き込まれる危険性もあります。

対策
飲酒は適量を守り、無理に勧められても断りましょう。飲酒の強要はぜったいにしないようにしましょう。

麻薬・危険ドラッグ

これらの薬物は幻覚や快楽をもたらす一方、強い依存性や毒性があります。依存症になってしまうと、薬物なしではいられなくなり、治療にも長い時間がかかります。麻薬・危険ドラッグは、使用することも所持することも犯罪です。

対策
麻薬・危険ドラッグにはぜったいに手を出してはいけません。「やせる薬」などといって勧められることもあるので注意しましょう。



マルチ商法

商品を販売しながら会員を増やせば報奨金がもらえると言って、会員に大量の商品を買わせる商法です。会員になると、大量の在庫を抱えてしまうばかりでなく、新会員を増やすために身近な人を巻き込んでしまうことにもなりかねません。

対策
「誰でも簡単にもうけられる」といった誘いには乗らないようにしましょう。契約してしまったときは**クーリング・オフ**で解約しましょう（契約から20日間以内）。

訪問販売・キャッチセールス

訪問販売は販売員が家を訪れて、キャッチセールスは街頭で声をかけて、言葉巧みに高額商品を売りつけます。訪問販売は特にひとり暮らしの人がねらわれます。訪問販売もキャッチセールスも、考える暇を与えられず、その場で契約を迫られます。

対策
相手にしないか、きっぱりと断りましょう。契約してしまったときは**クーリング・オフ**で解約しましょう（契約から8日間以内）。

▶**クーリング・オフ**
訪問販売や電話勧誘販売で申し込んだ契約を、一定期間内であれば無条件に解除できる制度。

架空請求

有料サイト利用料などの名目で請求書を送りつけ、金をだまし取る詐欺です。メールやウェブページのリンクをクリックすると有料サイトに登録したことにされる、ワンクリック詐欺も同種です。不用意に返信すると、かえって標的にされることがあります。

対策
身に覚えのない請求は無視しましょう（誤ってリンクをクリックしただけでは支払い義務は生じません）。悪質な場合は消費生活センターや警察に相談しましょう。

交通事故（自動車・バイク）

免許を取得し、自動車やバイクを運転するようになると、交通事故の危険がつきまといまします。事故によって他人の人生を狂わせることもあります。危険な運転には刑事罰が科されます。飲酒運転は、するのはもちろん、させても罰せられます。

対策
交通ルールは必ず守りましょう。運転するときにはつねに危険性を意識して、慎重に慎重を重ねましょう。

交通事故（自転車）

自転車は道路交通法上、車両の一種です。交通ルールの違反には罰則が定められていて、二人乗り、信号無視、飲酒運転などで検挙されることもあります。自転車事故で相手にけがを負わせた場合、数千万円の賠償に至ることもあります。

対策
スピードの出し過ぎや携帯電話を使用しながらの運転、無灯火運転なども、ぜったいにしないようにしましょう。

ハラスメント

「嫌がらせ」を意味します。性差別的な言動によるセクシャル・ハラスメント（セクハラ）や、教員がその立場を利用して行うアカデミック・ハラスメント（アカハラ）などがあります。セクハラでは、容姿や恋愛経験についての発言や、「男のくせに」といった言動も問題になります。

対策
自分の言動が相手に不快感を与えていないか、つねに気を配りましょう。ハラスメントにあったら大学のハラスメント相談窓口を利用しましょう。